

参 考 資 料

- 1 アンケート調査の結果
- 2 他自治体における事例調査

総合体育館の整備に係るアンケート調査等の実施について

1 調査目的

新たな総合体育館については、昨年の第4回県議会定例会における御論議の中で、「県民の意見を聴取する機会を設けるべき」との御指摘をいただいたところ。

また、同企画観光建設委員会委員長報告においては、「様々な調査等を行い、その情報を提供していただき、改めて検討する必要がある」とされたところ。

県議会の御論議を踏まえ、総合体育館の整備に関して県民の御意見をお聞きすることにより、今後の総合体育館の整備に向けた検討の参考とするため、総合体育館に望ましい機能や立地で重視すべき点などについて、アンケート調査等を実施した。

2 調査結果概要

今回のアンケート調査では、県民を対象としたアンケート調査と、主な施設利用者となる屋内スポーツ協議関係者を対象とした調査を実施した。

(1) 県民を対象としたアンケート調査

総合体育館に望ましい機能や立地で重視すべき点、候補地までの来場手段等について調査した。

- ・ 県政アンケートモニター調査（回答数：153件）
- ・ 県ホームページを活用したアンケート調査（回答数：1,976件）

【結果概要】

① 総合体育館の機能の中で利用したいもの

「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」など「みる」スポーツに配慮した機能や、「コンサートやイベント等の鑑賞」など多目的利用による交流拠点としての機能への関心が高い。

② 総合体育館の立地に当たり重視すべきもの

「敷地内に一定程度の駐車場が確保できること」や「周辺の道路に交通渋滞が少ないこと」など自動車でのアクセスに関する項目を重視すべきとの意見が多い。

③ スポーツ大会等の会場までの来場手段

現在開催されている大会やコンサート等の会場への来場手段については、「自家用車」を利用される方の割合が高く、また、総合体育館を「県庁東側の土地」、「県農業試験場跡地」のいずれかに整備すると想定した場合の来場手段についても、「自家用車」により来場すると回答された方の割合が高くなっている。

(2) 施設利用者を対象としたアンケート調査

施設利用者の視点からの御意見をお聞きするため、上記調査内容に加え、望ましい施設の規模や施設利用時の宿泊先等を調査した。

- ・ 中学校・高等学校の部活動指導者に対するアンケート調査
(回答数：387件)
- ・ 屋内スポーツ競技団体に対する調査（回答数：17件）

【結果概要】

① 総合体育館に望ましい機能

「県大会レベルでの競技大会の開催」や「競技力向上のための合宿等練習の場としての活用」など「する」スポーツに配慮した機能や、「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」など「みる」スポーツに配慮した機能への関心が高い。

② 総合体育館の立地に当たり重視すべきもの

立地に関しては、自動車でのアクセスに関する項目を重視すべきとの意見が多い。

③ スポーツ大会等の会場までの来場手段

大会やコンサート等の際に来場手段や、県庁東側の土地、県農業試験場跡地に整備すると想定した場合の来場手段については、自家用車を利用される方の割合が高い。

いずれの候補地でも、自家用車を利用される方が多いことが見込まれることから、アクセス道路の広さや十分な駐車場の確保、交通渋滞対策などは重要な検討事項である。

④ 大会等で宿泊先を選ぶ際に重視するもの

大会参加等の際に宿泊が必要となる場合の宿泊先の選定に当たって、「宿泊料金」や「大会等の会場との距離」を重視しているとの意見が多いが、離島地域では「送迎バスの有無」を特に重視する傾向が見られる。

(3) その他の意見（(1)及び(2)共通）

その他自由意見欄に記載のあった主な意見としては、施設の機能・規模等に関するもの、整備場所に関するもの、検討の進め方に関するものなどであった。

※ なお、県ホームページでの調査については、若い年代の方（20代以下）からの回答が約1割と少なく、また、地域別では、鹿児島市の方が7割以上を占めるなど、年代、地域によって関心の高さに差が見られたことから、今後、整備に向けた検討状況等について、幅広い年代、地域の方々に、関心を持っていただけるような努力が必要である。

新たな総合体育館の整備に係るアンケート調査 結果概要 《県政アンケートモニター》

1 調査目的

広く県民から様々な御意見を募り，新たな総合体育館の整備に向けた検討の参考とするため，県政アンケートモニター制度を活用したアンケート調査を実施した。

2 調査概要

(1) アンケート内容

新たな総合体育館の整備について，総合体育館に望ましい機能や候補地までの来場手段等についての御意見をお聞きするもの

(2) 調査時期

令和2年1月

(3) 調査対象

県政アンケートモニター 200名

※ 県政の円滑な推進に関心を持ち，県内に居住する18歳以上の方を対象に委嘱しており，全市町村に配置。

3 回答状況

153件（回答率76.5%） ※2月13日現在

(1) 性別内訳

男性 54件（35.3%），女性 99件（64.7%）

(2) 年代別・居住地別内訳

（単位：件，%）

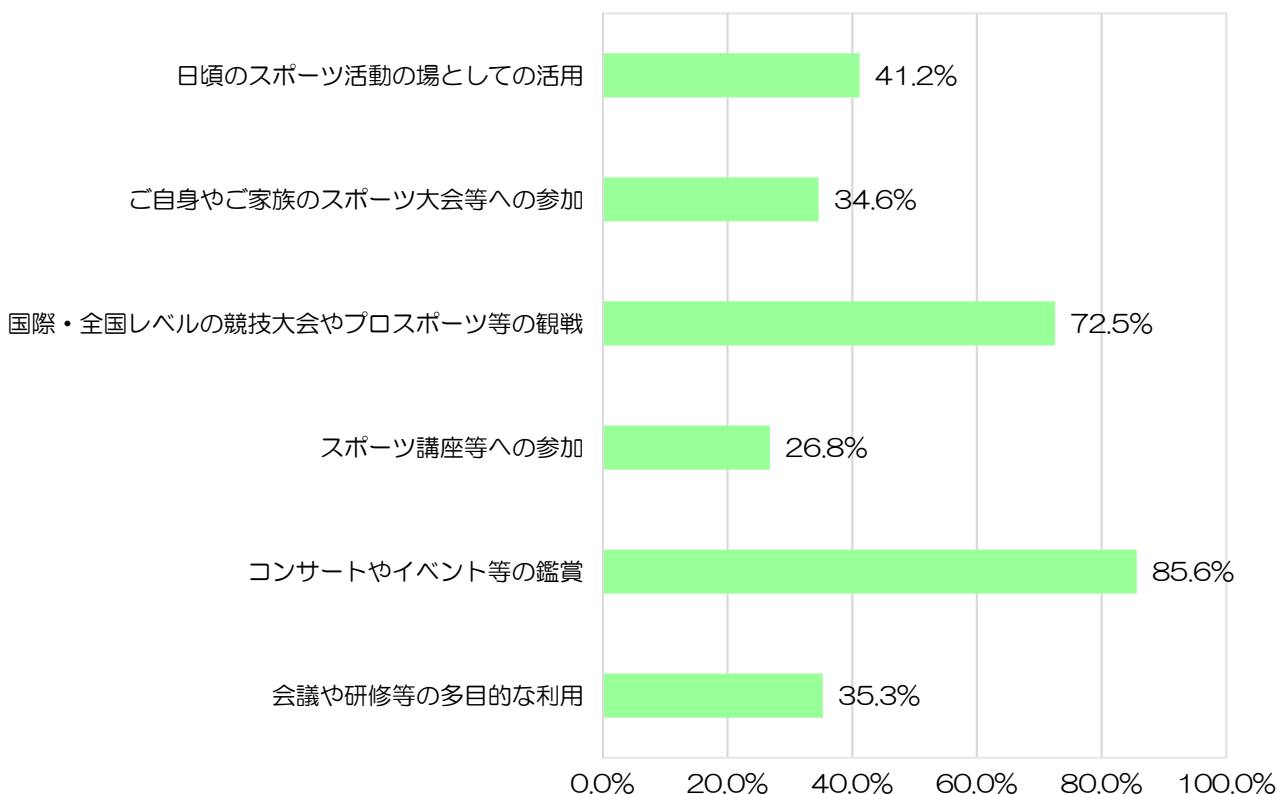
年代別			居住地別		
区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
20代以下	4	2.6	鹿児島市	45	29.4
30代	22	14.4	鹿児島	8	5.2
40代	40	26.1	南薩	17	11.1
50代	32	20.9	北薩	19	12.4
60代	35	22.9	始良・伊佐	24	15.7
70代	14	9.2	大隅	17	11.1
80代以上	6	3.9	熊毛	6	3.9
			大島	17	11.1
合計	153	100.0	合計	153	100.0

4 調査結果概要

新たな総合体育館の機能の中で利用してみたいもの

- 新たな総合体育館で利用してみたい機能については、「コンサートやイベント等の鑑賞」（85.6%）や「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」（72.5%）を選択された方の割合が高くなっている。
- 男女別、年代別、居住地別のいずれにおいても、概ね上記と同様の傾向となっているが、年代別では、70代、80代以上で「日頃のスポーツ活動の場としての活用」が50%を超えるなど、他の年代よりやや高くなっている。

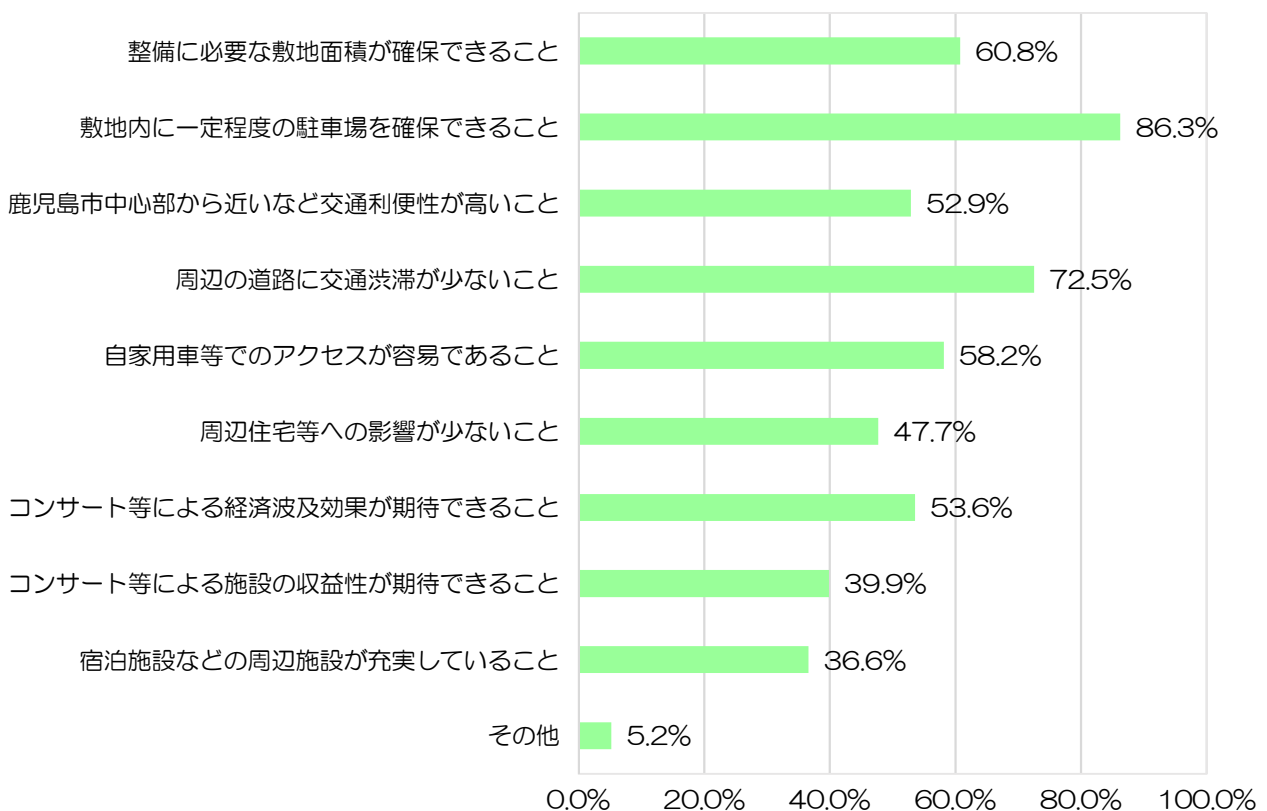
【各項目別の回答割合】



新たな総合体育館の立地に当たり重視すべきと考えられるもの

- 新たな総合体育館の立地で重視すべきものについては、「敷地内に一定程度の駐車場が確保できること」（86.3%）や「周辺の道路に交通渋滞が少ないこと」（72.5%）など自動車でのアクセスに関する項目を選択された方の割合が高く、次いで「整備に必要な敷地面積が確保できること」（60.8%）と続いている。
- 男女別，年代別，居住地別のいずれにおいても，概ね上記と同様の傾向となっているが，年代別では，50代以上の各年代で「鹿児島市中心部から近いなど交通利便性が高いこと」が50%を超えるなど，他の年代よりやや高くなっている。

【各項目別の回答割合】



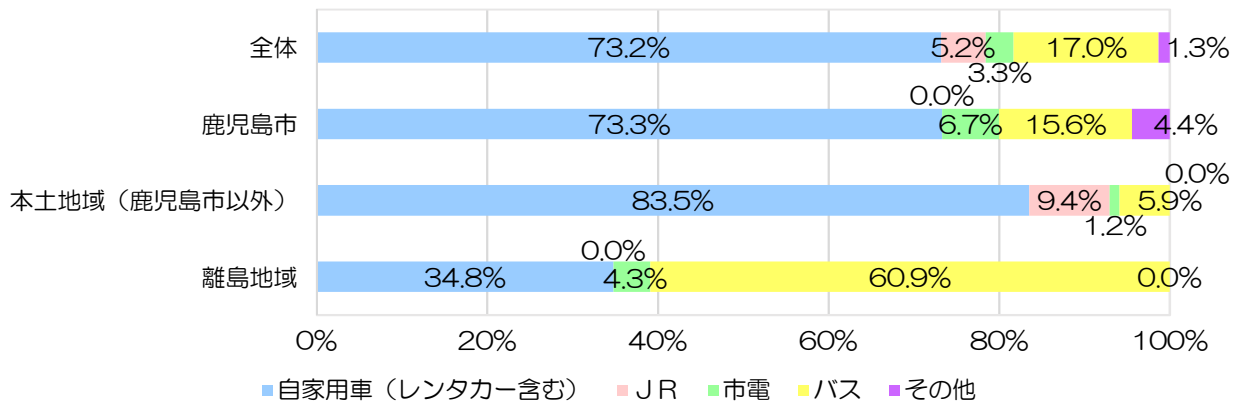
※その他の主な内容

- ・周辺の景観とのマッチ。
- ・整備に必要なコストが低いこと。
- ・自動車での道具運搬を考え，高速道路インターに近いこと。 等

スポーツ大会、スポーツ観戦、コンサート、イベント等の会場への交通手段

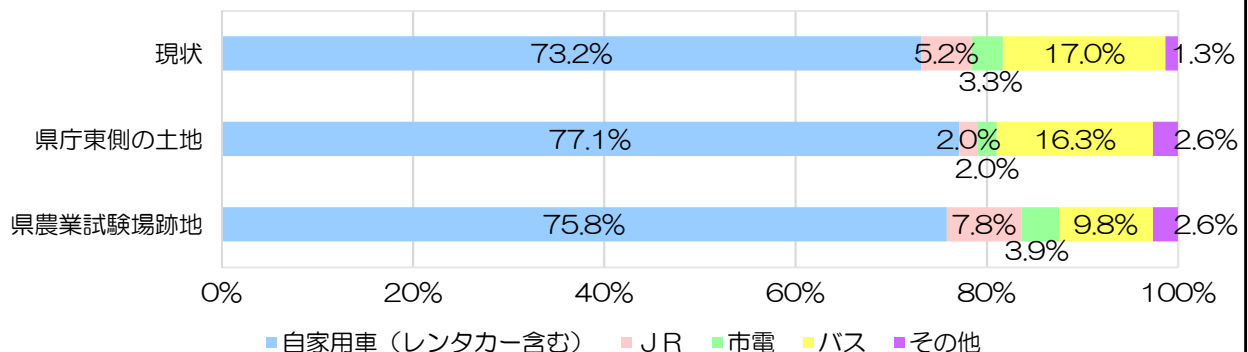
- 現在鹿児島市内で実施されているスポーツ大会等の会場への交通手段については、「自家用車」(73.2%)を選択された方の割合が最も高く、次いで「バス」(17.0%)、「JR」(5.2%)となっている。
- 居住地別では、「自家用車」を選択された方の割合が、鹿児島市の73.3%に対し、鹿児島市以外の本土地域では83.5%と高くなっている。また、港や空港からの移動手段についてお尋ねした離島地域では、「バス」が60.9%と高く、「自家用車」は34.8%と低くなっている。

【各項目別の回答割合】



- 総合体育館が県庁東側の土地に整備された場合の交通手段について、現状と比較して「自家用車」が76.8%で3.9ポイントの増、「その他」が2.6%で1.3ポイントの増、「JR」が2.0%で3.2ポイントの減となっている。特に大隅地域では、11.8%の方が「その他」として徒歩(鴨池・垂水フェリー利用)と回答している。
- 総合体育館が県農業試験場跡地に整備された場合の交通手段について、現状と比較して「自家用車」が75.8%で2.6ポイントの増、「JR」が7.8%で2.6ポイントの増、「バス」が9.8%で7.2ポイントの減となっている。特に鹿児島市では、17.8%の方が「JR」と回答している。

【各項目別の回答割合 (整備場所別)】



その他新たな総合体育館の整備に関する意見（自由意見）

- 今回のアンケートにご回答いただいた151件のうち、その他総合体育館の整備に関する意見（自由意見）欄に記載が無かった、「意見なし」は、49.0%で、残り51.0%の回答では、何らかの意見をいただいた。
- 意見の主な内容については、以下のとおりである。
 - ・ 体育館としての機能を重視すべきである。
 - ・ 国際レベルの競技大会やコンサートなどが鑑賞できる体育館なら、是非利用してみたいし、とても楽しみである。
 - ・ 武道館や弓道場は、例えば、体育館で催し物があっても使えるような、独立したものにしてほしい。
 - ・ 災害時などの避難施設としての設備を備えたものであってほしい。
 - ・ 高齢者や身体不自由者等の利便性を考慮した施設であってほしい。
 - ・ 駐車場をできるだけ多く確保してほしい。また、災害が起きた場合のことを考慮してほしい。

 - ・ 県庁東側は近くに陸上競技場や野球場などのスポーツ施設が充実しており、体育館ができれば良いと思う。
 - ・ 県庁東側の土地が対象地にふさわしいと思う。「スポーツをする・みる・ささえる」のテーマからふれず、県民の「スポーツエリア」のイメージも重視してほしい。
 - ・ 県庁東側の土地が最適である。交通の便や集客のために良い。

 - ・ 西谷山に整備するのがよいと思う。スポーツ施設をまとめる必要はなく、JRを利用すれば、県内、県外の方にとってもアクセスが良い。
 - ・ 県農業試験場跡地が望ましい。十分な敷地面積があるので駐車場も確保でき、商業施設や宿泊施設は新たに建設されることにより、鹿児島県の活性化が図れる。
 - ・ 財政面、敷地面積、一極集中の回避などの面からして、県農業試験場跡地が良いと思う。

 - ・ 鹿児島中央駅西口は、県外からのアクセスがしやすく、県内からもJRや多くのバスで容易に乗り入れでき、雨天時や降灰の影響も小さいので、とても良い立地条件だと思う。
 - ・ 鹿児島市街地だと交通渋滞が発生するので、例えば松元町、桜島、始良などにして、シャトルバス等の交通手段をしっかりとさせれば可能であり、地域の活性化にもつながる。
 - ・ 始良市、霧島市など空港に近いし、県の中央である。

 - ・ 駐車場が広く、交通渋滞がおきない所を最も希望する。少々市の中心部より遠くても良い。

- 誰が利用しても楽しめて、分かりやすい場所や行きやすいところに作ってほしい。
- 離島から来られる方にとってバス1本で行けたり、乗り継ぎせずに行けたら本当に助かると思う。
- 県庁東側の土地は総合体育館整備には狭いように思われ、民有地を取得するとかなりの金額になる。
- 土地の確保がしやすい方が金銭的にもよく、それに合わせて駅やフェリー乗り場、空港からのアクセスを整えていけばよい。
- 県庁東側の土地をかつて候補地として検討した際、隣接の民有地の用地交渉が不調に終わったと聞いたが、今回その点はどうなるか。
- 県民の声を広く聞いて、じっくりと検討を進めてほしい。
- 建物を作ることが目的ではなく、作った後の維持管理と採算性について十分に検討した上で、議論すべきではないか。
- 先行優良事例も参考にしながら、他の行政主体とも手を取り合って、スピーディーに計画を進めてほしい。
- そもそも必要ない。国体にも間に合わないし、他にもっと税金を使うべきところがある。スポーツ振興を考えるなら、ハード面ではなく人材育成などのソフト面を。
- 人口減少の今、大切なことは災害に対する準備であり、大きな施設は必要ないと思う。全国規模の催しなどは、隣県と相談してお互い負担が少ないように行う方がよい。
- 大きな施設は、鹿児島島市民利用がメインで、立地に関して離島の利益が考慮されない。もっと離島住民の利になる施策を作ってほしい。

新たな総合体育館の整備に係るアンケート調査 結果概要 《県ホームページ》

1 調査目的

広く県民から様々な御意見を募り、新たな総合体育館の整備に向けた検討の参考とするため、県ホームページを活用したアンケート調査を実施した。

2 調査概要

- (1) アンケート内容
県政アンケートモニター制度を活用したアンケート調査と同様
- (2) 調査期間
令和2年1月15日（水）～令和2年1月31日（金）（17日間）
- (3) 調査方法
県ホームページ内に、当該アンケート用の回答フォームを設置
※インターネット環境が無い方に対しては、FAX等により個別に対応

3 回答状況

1,976件

- (1) 性別内訳
男性 1,291件（65.3%）、女性 685件（34.7%）
- (2) 年代別・居住地別内訳 （単位：件、%）

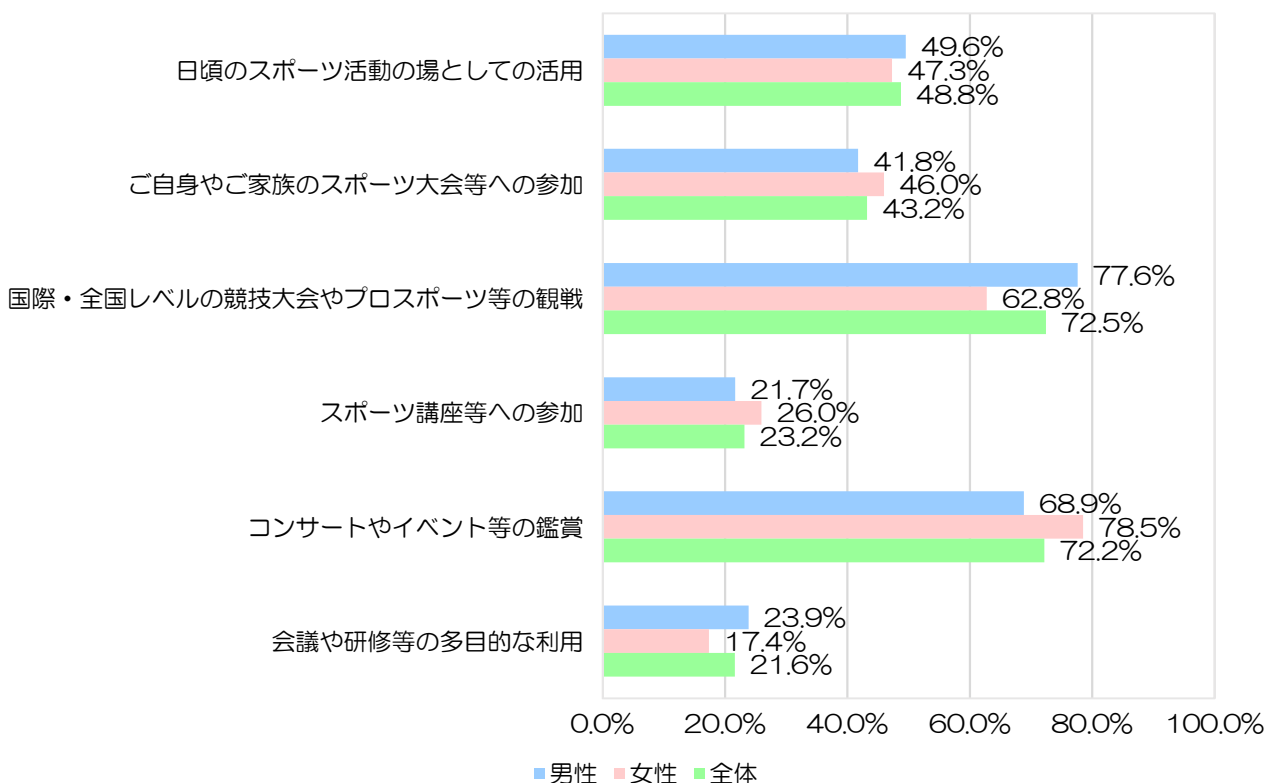
年代別			居住地別		
区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
10代以下	62	3.1	鹿児島市	1,439	72.8
20代	152	7.7	鹿児島	71	3.6
30代	322	16.3	南薩	78	3.9
40代	576	29.1	北薩	96	4.9
50代	397	20.1	始良・伊佐	150	7.6
60代	351	17.8	大隅	93	4.7
70代	103	5.2	熊毛	10	0.5
80代以上	13	0.7	大島	24	1.2
			県外	15	0.8
合計	1,976	100.0	合計	1,976	100.0

4 調査結果概要

新たな総合体育館の機能の中で利用してみたいもの

- 新たな総合体育館で利用してみたい機能については、「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」（72.5%）や「コンサートやイベント等の鑑賞」（72.2%）を選択された方の割合が高く、次いで「日頃のスポーツ活動の場としての活用」（48.8%）となっている。
- 男女別では、男性が「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」（77.6%）、女性が「コンサートやイベント等の鑑賞」（78.5%）の割合が最も高くなっている。
- 年代別では、30代及び40代で「ご自身やご家族のスポーツ大会等への参加」を選択された方がそれぞれ53.1%、52.3%となっており、他の年代より高くなっている。
- 居住地別では、県本土地域では、県全体と同様の傾向となっているが、離島地域（熊毛地域、奄美地域）では、「コンサートやイベント等の鑑賞」の割合が47.1%と低く、「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの観戦」（82.4%）や「ご自身やご家族のスポーツ大会等への参加」（61.8%）の割合が高い。

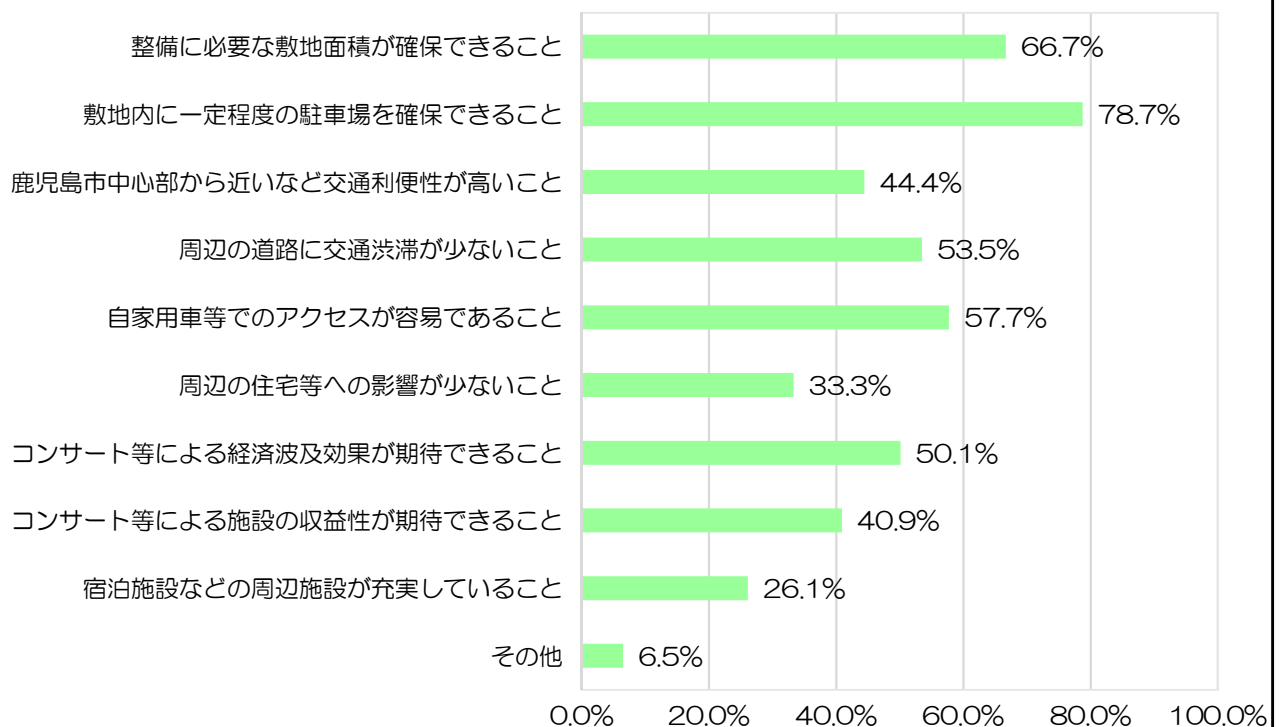
【各項目別の回答割合】



新たな総合体育館の立地に当たり重視すべきと考えられるもの

- 新たな総合体育館の立地で重視すべきものについては、「敷地内に一定程度の駐車場が確保できること」（78.7%）や「整備に必要な敷地面積が確保できること」（66.7%）を選択された方の割合が高いほか、「周辺の道路に交通渋滞が少ないこと」や「周辺の道路が広いなど自家用車でのアクセスが容易であること」など自動車でのアクセスに関する項目が、いずれも50%を超えている。
- また、男女別、年代別、居住地別（県外を除く）のいずれにおいても、「敷地内に一定程度の駐車場が確保できること」を選択された方の割合が最も高く、その他の項目についても概ね上記と同様の傾向となっている。

【各項目別の回答割合】



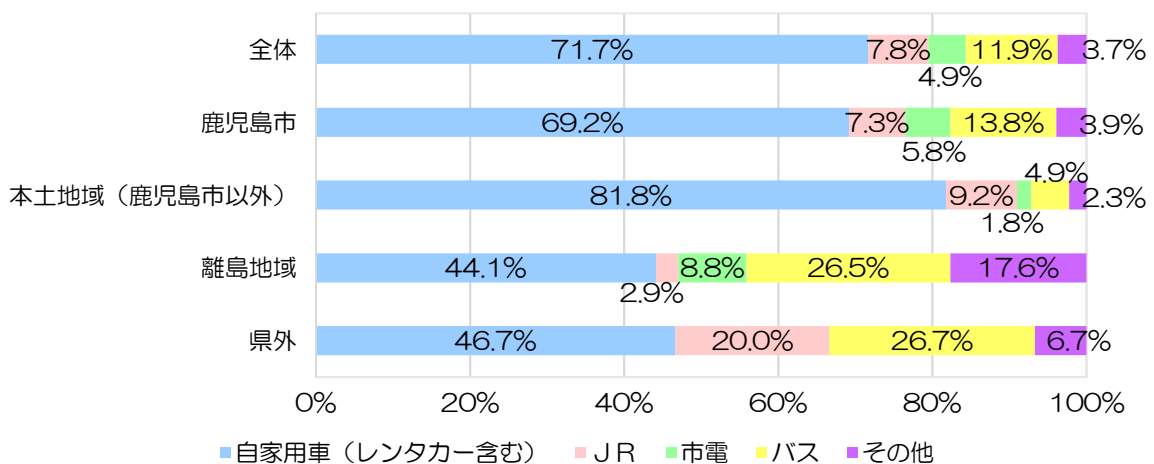
※その他の主な内容

- ・整備費用が少なくすむこと。
- ・災害時の避難施設や活動拠点など防災面での活用が期待できること。
- ・周辺地域の活性化につながること。
- ・他施設との連携が可能であること。
- ・イベント等がない時にも、県民が施設や駐車場を気軽に利用できること。 等

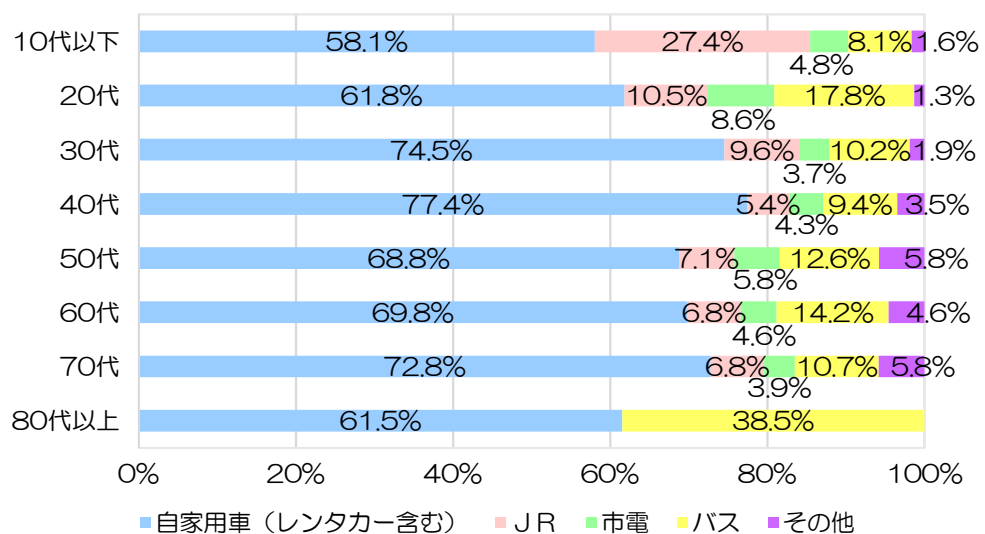
スポーツ大会、スポーツ観戦、コンサート、イベント等の会場への交通手段

- 現在鹿児島市内で実施されているスポーツ大会等の会場への交通手段については、「自家用車」(71.7%)を選択された方の割合が最も高く、次いで「バス」(11.9%)、「JR」(7.8%)となっている。
- 年代別では、いずれの年代においても、「自家用車」の割合が最も高くなっているが、10代以下は58.1%とやや低く(他年代は60%以上)、「JR」が27.4%と高く(他年代は概ね10%以下)となっている。
- 居住地別では、「自家用車」を選択された方の割合が、鹿児島市の69.2%に対し、鹿児島市以外の本土地域では81.8%と高くなっている。また、港や空港からの移動手段についてお尋ねした離島地域では、バス等の公共交通機関が38.2%と高くなっている。

【各項目別の回答割合】

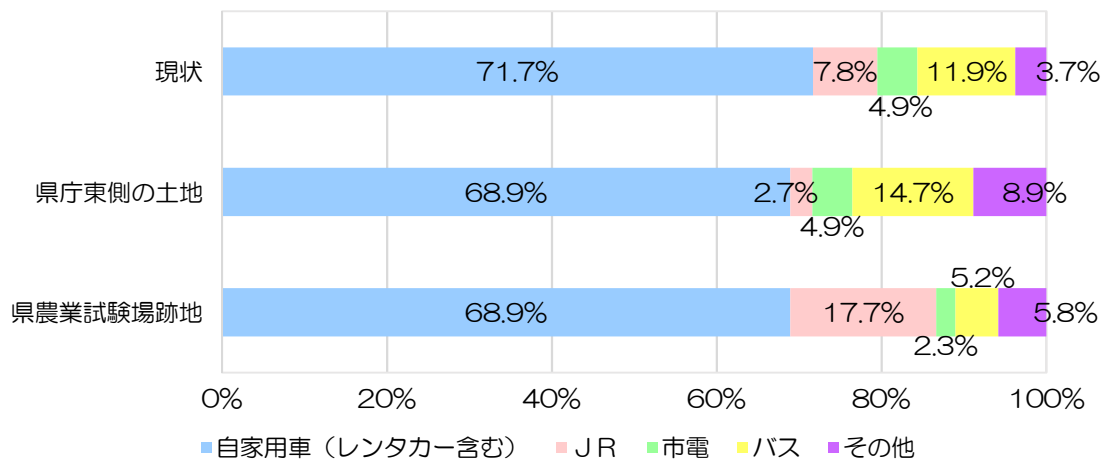


【各項目別の回答割合(年代別)】



- 総合体育館が県庁東側の土地に整備された場合の交通手段について、「自家用車」が68.9%で、現状と比較して2.8ポイントの減となる一方、「バス」が14.7%で2.8ポイント、「その他」が8.9%で5.2ポイントの増となっている。特に大隅地域では、19.4%の方が「その他」として徒歩（鴨池・垂水フェリー利用）と回答している。
- 総合体育館が県農業試験場跡地に整備された場合の交通手段について、「自家用車」が68.9%で、現状と比較して2.8ポイントの減となる一方、「JR」が17.7%で9.9ポイントの増となっている。特に鹿児島市では、19.1%の方が「JR」と回答している。

【各項目別の回答割合（整備場所別）】



その他新たな総合体育館の整備に関する意見（自由意見）

- 今回のアンケートにご回答いただいた1,976件のうち、その他総合体育館の整備に関する意見（自由意見）欄に記載が無かった、「意見なし」は、25.6%で、残り74.4%の回答では、何らかの意見をいただいた。
- 意見の主な内容については、以下のとおりである。
 - ・ 県の総合体育館としての整備であれば、バスケットボールコート4面が確保できる施設が必要である。3面以下のものは地方にたくさんある。
 - ・ 国際基準のフットサルコート2面が確保できると、利用価値が高まる。
 - ・ スポーツの国際大会が開けるような体育館にしてほしい。
 - ・ スポーツ競技だけでなく、コンサートなど多目的に利用できるように考えて作ってもらいたい。
 - ・ 鹿児島アリーナや市民文化ホールと同じような規模では意味がないので、棲み分けを考えてほしい。
 - ・ 準備室やトレーニングスペースなど各種設備も充実させ、プロも使えるようにすべき。
 - ・ 総合体育館の中に、ダンスやヨガ、ピラティス、ストレッチ、体操など様々な用途に利用できるスタジオを設置してほしい。
 - ・ 災害時等の避難場所としても考慮した設計が必要。
 - ・ どこに整備するのでも十分な駐車場を確保してほしい。
 - ・ バス専用の駐車スペースや自転車の駐輪場などがあれば交通状態も良くなるのではないか。
 - ・ 車椅子利用者等に配慮したエレベーターなど、障害者でも利用が簡単にできるようにしてほしい。
 - ・ 県庁東側の土地のほうが、周辺にスポーツ施設が集中しているため、県外からの旅行者にも分かりやすい。また、道路も広く自家用車やタクシーの利用者にも利便性が高い。
 - ・ 大隅半島側から車で錦江湾を渡らなくても通うことができる。また、スポーツイベント参加はマイクロバス移動が多く、道路の広さやホテルからのアクセス等を考慮しても県庁東側がよい。
 - ・ 会場までの時間や運賃を考慮すると、出来るだけ中心市街地に近い県庁東側への建設を希望する。
 - ・ 与次郎（県庁東側の土地）であれば、鹿児島新港からも比較的近いいため移動しやすい。
 - ・ 鴨池、与次郎周辺に体育館を建設することで、この地域がスポーツを通じて健康づくりができる拠点になる。
 - ・ 県農業試験場跡地であれば谷山地区の活性化に対応でき、鹿児島市のスポーツ施設の分散化に役立つと考えられる。また、県有地であり土地の購入費用がないなど無駄な支出が抑えられる。

- 開発が進む谷山地区に建設されれば、ホテルができるなどの経済効果が期待でき、JRや市電、バスの便も良い上、高速道路インターからも近くて利便性は大変良い。ふれあいスポーツランドとの相乗効果も期待できる。
 - 与次郎地区は敷地が狭く、民有地を購入しなければならない。財政負担が大きい。農業試験場跡地は敷地が十分にあり駐車場も確保できる。JR慈眼寺駅から徒歩5分に位置し、学生等も利用しやすい。
 - 市中心部に全ての施設が集中するよりも、周辺に分散させた方が経済的にも新たな発展が望めるのではないか。
 - JRや市電を利用する人は1回の乗り換えですみ、県庁東側の土地より利便性がよい。
-
- 鹿児島中央駅周辺が幅広い世代が利用しやすく適している。交通アクセスもよく、集客力もあり、飲食店や宿泊施設も多くショッピングの楽しみもあるため、経済効果が大きい。
 - 交通利便性や宿泊施設、天文館や鹿児島中央駅との回遊性などの利点が多い、ドルフィンポート跡地周辺への整備が望ましい。
 - 鹿児島市内にこだわらず、県央にある霧島市であれば空港からのアクセスもよく、温泉宿泊地も近いため、県外の方にも気軽に利用してもらえるのではないか。
-
- 車に乗らない学生が、自分たちで行けるような場所に整備してほしい。
 - 他県からの来場者を多く見込むような大会やイベントでの利用を考えると、鹿児島中央駅からの利便性が高いほうがよい。土地勘のない方でも分かりやすく移動できることが重要である。
 - 公共交通機関の連携が容易で、家族連れや高齢者も行きやすく、多くの方が分かりやすい場所にあればよい。
 - 離島住民からすれば、宿泊施設が多い場所の近くに体育館があるほうが便利である。
-
- 県財政が厳しい中で、あえて土地の新規購入は避けるべきではないか。
 - 土地取得の費用が発生するのであれば、土地取得の必要のない場所を選定し、周辺の整備に費用を充てる方が、無駄がないのではないか。
 - 隣接地の取得を前提にしているが、取得の見込みがあるのか。
 - 以前に話がまとまらなかった県庁東側の土地の隣接地が、今回用地買収できるのか疑問である。所有者の理解が得られると考えているのか。
-
- 国体に間に合わないのであれば、焦って作らず、将来を見据えてじっくりと検討すべきである。

- どんな機能が必要で、どんなイベントを呼びたいかの議論が不足したまま、立地など建設ありきの進め方をしても県民の理解は得られない。県民に寄り添った体育館を作る努力をしてほしい。
- 50年は利用する施設なので慎重に進めてほしいが、時間がかかり過ぎている印象があり、なるべく早く選定してほしい。
- そもそも必要性が本当に検討されたのか。県内の体育館に不足があるのか疑問である。
- 貴重な税金を使って新しく体育館を作る必要があるのか慎重に検討する必要がある。既存の施設を十分に活用すべきである。
- 国体も今年開催される中、新たな体育館の建設が必要か再検討すべき。県の財政状況を考えると、他に課題がたくさんある。

新たな総合体育館の整備に係るアンケート調査 結果概要 《中学校・高等学校部活動指導者》

1 調査目的

施設利用者の視点から幅広く御意見を募り，新たな総合体育館の整備に向けた検討の参考とするため，中学校・高等学校の部活動指導者等を対象にアンケート調査を実施した。

2 調査概要

(1) アンケート内容

新たな総合体育館の整備について，総合体育館に望ましい機能や施設の規模，候補地までの来場手段，施設利用時の宿泊先等についての御意見をお聞きするもの

(2) 調査時期

令和2年1月

(3) 調査対象

令和2年1月に開催された中学・高校の県レベルの競技大会（5大会）に参加した学校の部活動指導者等

(4) 調査方法

大会会場でアンケート調査票を配布

3 回答状況

387件（高等学校:124件，中学校:263件）

(1) 回答率

62.6%（大会参加校数：618校）

(2) 学校所在地別・参加人数別内訳

（単位：件，%）

学校所在地別			参加人数別		
区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
鹿児島市	140	36.4	～10名	107	27.8
鹿児島地域	21	5.5	～15名	122	31.7
南薩地域	37	9.6	～20名	87	22.6
北薩地域	54	14.0	～25名	39	10.1
始良・伊佐地域	48	12.5	～30名	17	4.4
大隅地域	62	16.1	～35名	7	1.8
熊毛地域	6	1.6	～40名	2	0.5
奄美地域	17	4.4	～45名	4	1.0
合計	385	100.0	合計	385	100.0

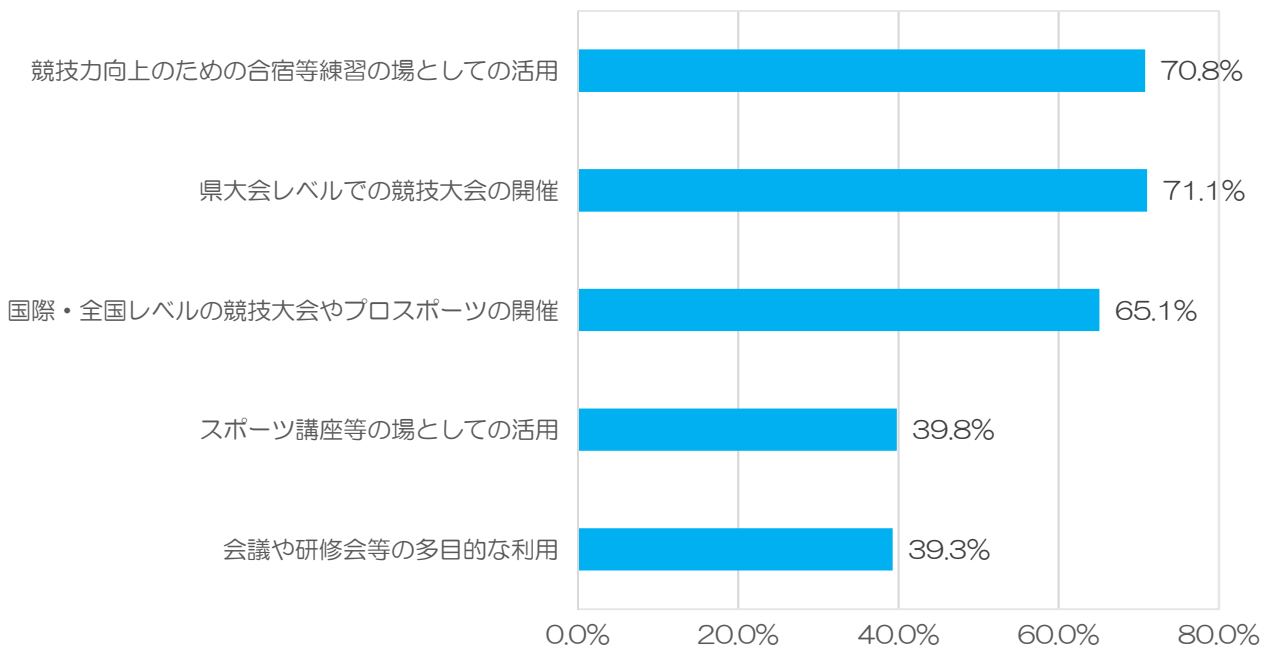
※ 学校所在地及び参加人数を記入していない学校が2校あるため，回答数は一致しない

4 調査結果概要

新たな総合体育館に望ましい機能

- 新たな総合体育館に望ましい機能については、「県大会レベルでの競技大会の開催」（71.1%）や「競技力向上のための合宿等練習の場としての活用（トレーニングジム等を含む）」（70.8%）を選択された方の割合が高く、次いで「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの開催」（65.1%）となっている。
- 学校所在地別においても県全体と同様の傾向であるが、鹿児島市においては、「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの開催」（72.1%）を選択された方の割合が最も高くなっている。

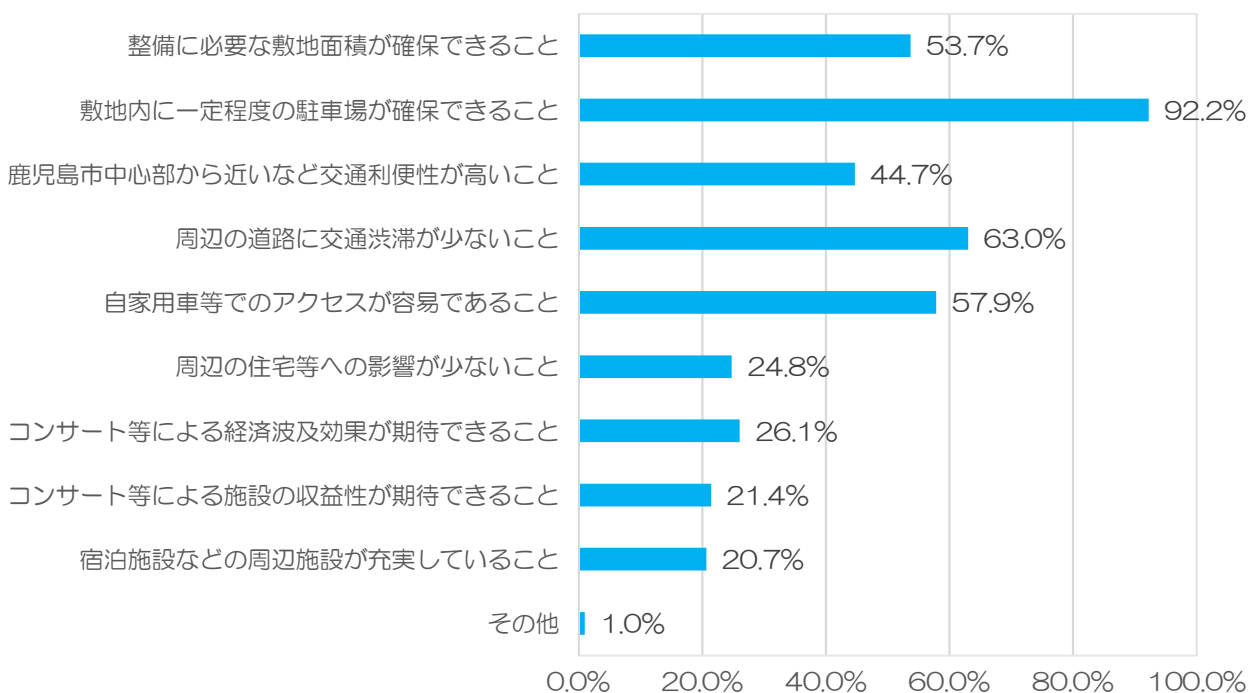
【各項目別の回答割合】



新たな総合体育館の立地に当たり重視すべきと考えられるもの

- 新たな総合体育館の立地で重視すべきものについては、「敷地内に一定程度の駐車場が確保できること」（92.2%）や「周辺の道路に交通渋滞が少ないこと」（63.0%）を選択された方の割合が高いほか、「周辺の道路が広いなど自家用車でのアクセスが容易であること」（57.9%）など自動車でのアクセスに関する項目を選択された方の割合が高くなっている。
- 学校所在地別においても県全体と同様の傾向であるが、離島地域においては、「鹿児島市中心部から近いなど交通利便性が高いこと」（56.5%）を選択する割合が本土地域（43.9%）より高くなっている。

【各項目別の回答割合】

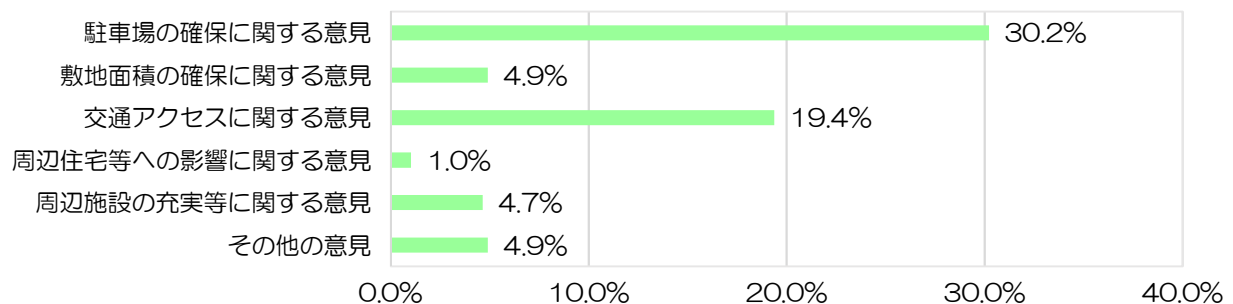


※その他の内容

- 施設から消防署、病院等へのアクセスが比較的スムーズであること。
救急車を必要とする熱中症や怪我への対処をよりスムーズに、迅速に行えるようにするために必要と考える。
- 地方からの時間距離の平等性 等

新たな総合体育館の立地環境について望ましいと考えるもの

- 新たな総合体育館の立地環境について望ましいと考えるものについて、記述式により御意見をお聞きしたところ、169件（43.7%）で意見をいただいた。
- 内訳については、その大半を「駐車場の確保に関する意見」や「交通アクセスに関する意見」が占めており、前述の「新たな総合体育館の立地に当たり重視すべきと考えられるもの」と同様の傾向となっている。

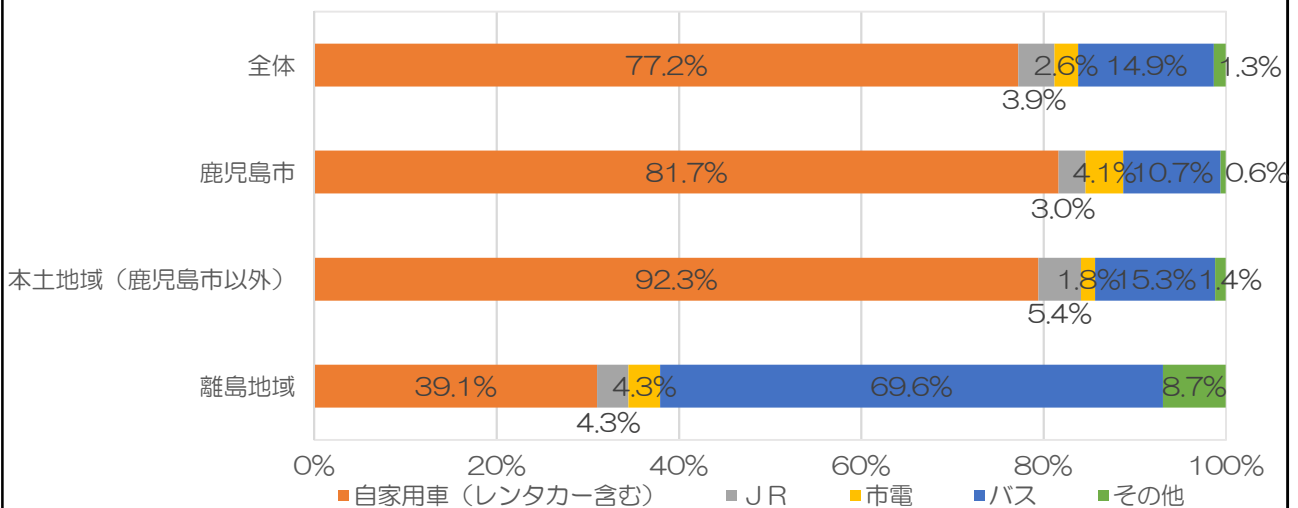


- 主な意見の内容については、以下のとおりである。
 - ・ 部活動の大会では、選手もチームの道具を運んだりしなければならず、自家用車の乗り入れは必須であり、とにかく駐車場が確保できること。
 - ・ 地方の小規模校が大会に参加する際は、保護者の送迎が基本となり、駐車場がないと苦勞する。体育館の規模に見合う駐車場を確保してほしい。
 - ・ 駐車場の確保が重要であり、離島の学校が移動しやすいよう、中心部に体育館ができると負担が軽減される。
 - ・ 公共交通機関でのアクセスが容易であり、大型バスも駐車できる広い駐車場があること。
 - ・ 交通利便性が高く、交通渋滞が少ないなどアクセスが容易であること。
 - ・ 用地面積が十分に確保でき、かつ利便性の良いところ。
 - ・ 市内中心部かつコート数、研修室などを考慮した広い敷地が取れる場所がよい。
 - ・ 遠方から来られる方は宿泊が必要になるので、宿泊施設が重要になる。
 - ・ 周辺に病院や買い物ができる施設があること。

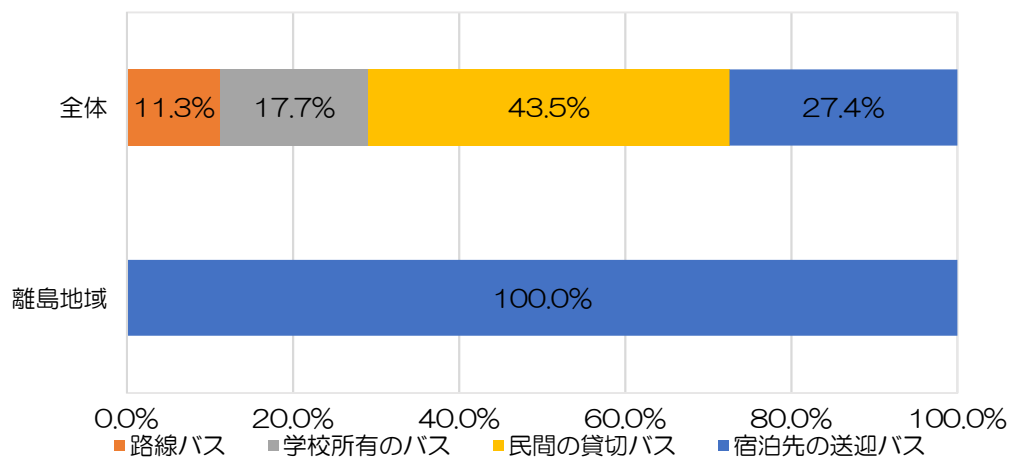
スポーツ大会時の会場への交通手段

- 現在鹿児島市内で実施されているスポーツ大会時の会場への交通手段については、「自家用車」（77.2%）を選択された方の割合が最も高く、次いで「バス」（14.9%）, 「JR」（3.9%）となっている。
- 学校所在地別では, 「自家用車」を選択された方の割合が, 鹿児島市の81.7%に対し, 鹿児島市以外の本土地域では92.3%と高くなっている。また, 港や空港からの移動手段についてお尋ねした離島地域では, 「バス」を選択した割合が69.6%と高くなっている。
- なお, 「バス」を選択された方のバスの種別については, 「路線バス」が11.3%, 「学校所有のバス」が17.7%, 「民間の貸切バス」が43.5%, 「宿泊先の送迎バス」が27.4%となっている。特に離島地域では, 全ての方が「宿泊先の送迎バス」を利用している。

【各項目別の回答割合】

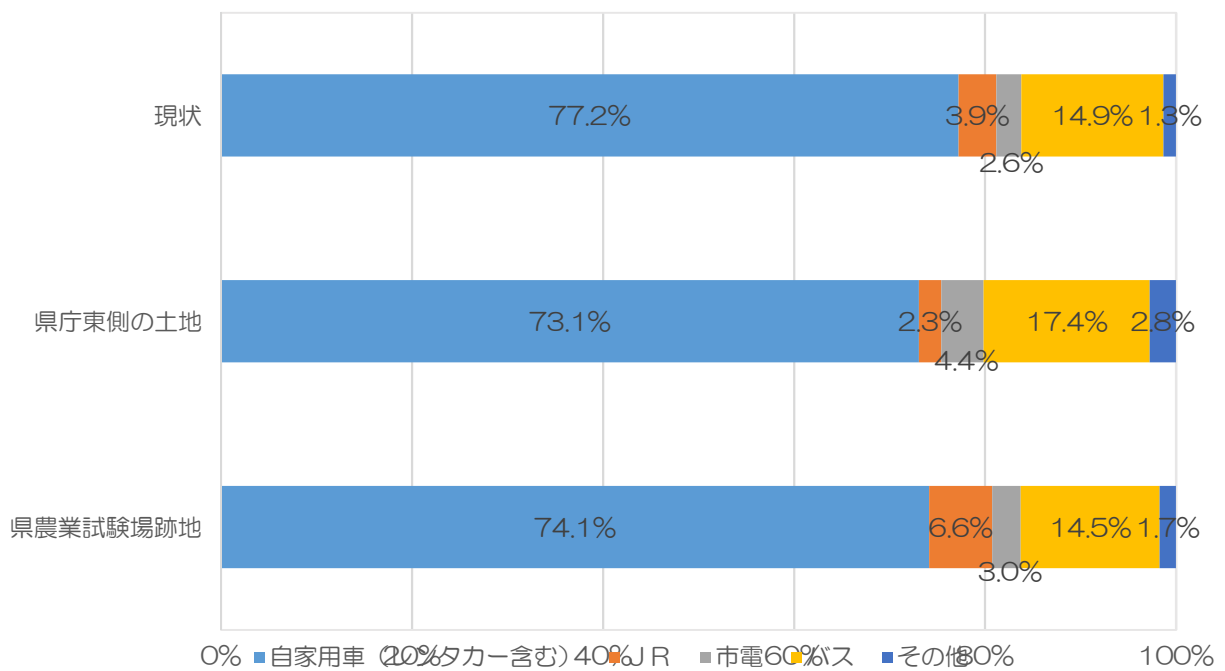


【バスを選択した方の内訳】



- 総合体育館が県庁東側の土地に整備された場合の交通手段について、「自家用車」が73.1%で4.1ポイントの減、「バス」が17.4%で2.5ポイント、「その他」が2.8%で1.5ポイントの増となっている。特に大隅地域では、11.8%の方が「その他」として徒歩（鴨池フェリー利用）と回答している。
- 総合体育館が県農業試験場跡地に整備された場合の交通手段について、「自家用車」が74.1%で3.1ポイントの減、「JR」が6.6%で2.7ポイントの増となっている。鹿児島市では、「JR」が6.4%で3.4ポイントの増となっている。

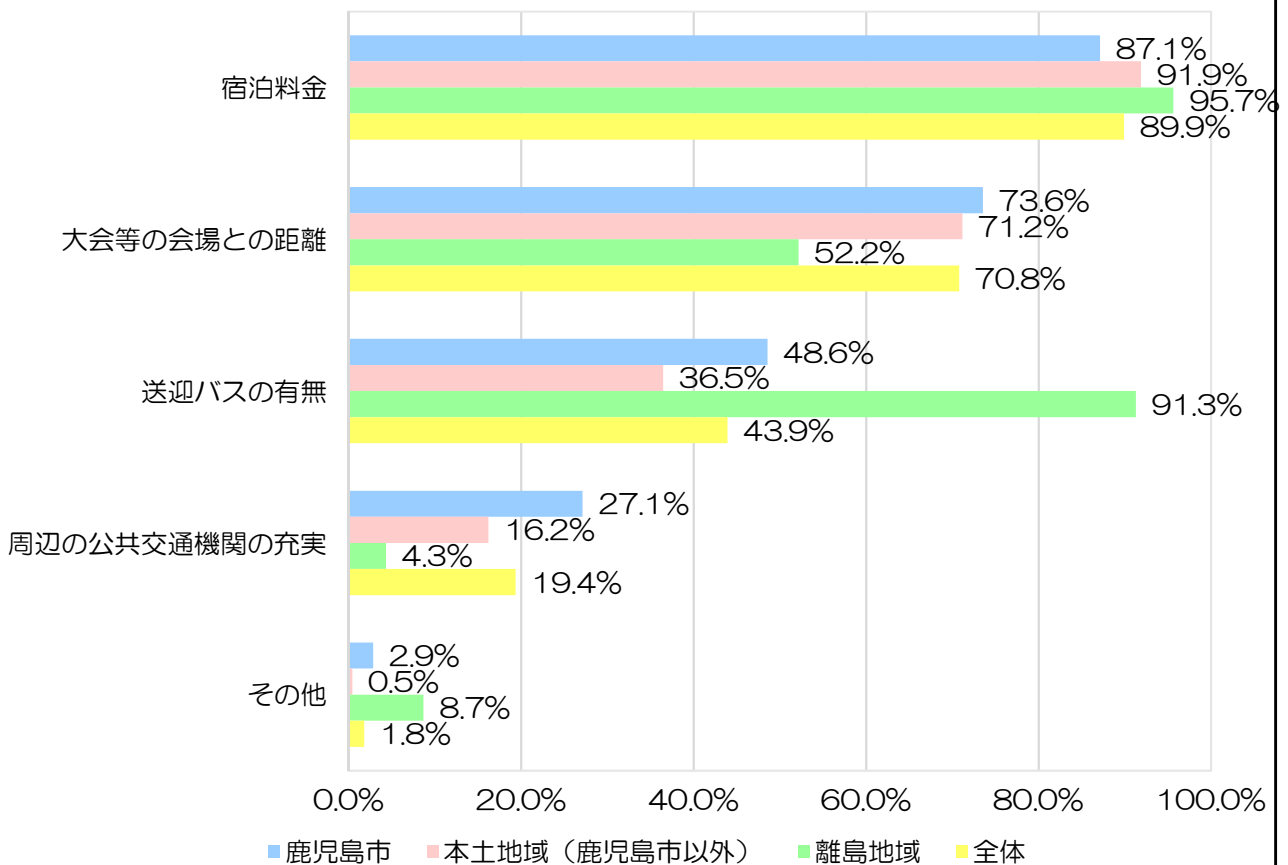
【各項目別の回答割合（整備場所別）】



大会参加や合宿等で宿泊先を選ぶ際に重視するもの

- 大会参加や合宿等で宿泊先を選ぶ際に重視するものについては、「宿泊料金」（89.9%）を選択された方の割合が最も高く、次いで「大会等の会場との距離」（70.8%）、「送迎バスの有無」（43.9%）となっている。
- 学校所在地別においても県全体と概ね同様の傾向であるが、離島地域においては、「送迎バスの有無」を選択する割合が91.3%とその他の地域より高くなっている。

【各項目別の回答割合】



※その他の内容

- ・食事内容
- ・駐車場の有無
- ・大部屋の有無など施設設備 等

新たな総合体育館に望ましい施設の規模等、その他整備に関する意見 (自由意見)

- 今回のアンケートに御回答いただいた387件のうち、新たな総合体育館に望ましい施設の規模等及びその他整備に関する意見(自由意見)に記載が無かった「意見なし」は、49.4%で、残り50.6%の回答では、何らかの意見をいただいた。
- うち、総合体育館の規模・構成等に関する意見の主な内容については、以下のとおりである。
 - ・ 県外の施設と比較すると現在の体育館の建物の小ささ、観客席の少なさを感じる。国際大会、全国大会が開催できるような広さ、施設にしてもらいたい。
 - ・ 国際大会から県大会まで開催でき、地域の方々まで幅広く使えるような、多彩な機能を持った規模が望ましいと考える。
 - ・ 中途半端な広さにするのではなく、競技団体の意向も聞いて大会運営等に支障がないよう考えてほしい。
 - ・ 国際大会ができる規模であれば申し分ないが、小・中・高校生が大会で利用できれば、子ども達にとって最高の思い出の1つになるので、配慮してほしい。
 - ・ あまり大きく日常の利用が難しい体育館では困るので、大きくても1万人程度の規模でよいのではないか。
 - ・ バasketコートを中心にメインアリーナに4面、サブアリーナに2面確保し、選手に最高の環境でプレーしてもらいたい観点から、競技の機材も最新にしてほしい。また、会議室や控え室、更衣室は多い方がよい。
 - ・ バレーボールコート4面を確保でき、ボール侵入による事故を防ぐため、間隔を十分に確保できるようにしてほしい。
 - ・ 柔道場と剣道場をそれぞれ確保してほしい。また、全国大会がメインアリーナで開催し、県内規模の大会は4面程度の柔道場等が確保できれば望ましい。
 - ・ なるべくメインアリーナを大きく、かつ、客席との距離感を意識し、プレーヤーと観客を中心とした設計を行ってほしい。また、プロや国際大会をイメージすると天井設置型のスクリーンや電光掲示板、スコアボードも必須だと思う。
 - ・ 高校生の大会等での使用を考えると、生徒がアップできるようなスペース、応援席や控え室、通路の広さ等を考慮してほしい。
 - ・ 県民の方々が健康づくりのために利用できるスペースがあり、また、障害者スポーツの促進にもつながるような、様々な面で配慮のある施設、設備が望ましい。
 - ・ 中学生以下の大会で公共交通機関を利用しての大会参加は難しいので、施設の規模にあった駐車場を確保してほしい。

- 大会を運営する側として毎回苦慮するのは駐車場の確保。選手、保護者は基本自家用車を利用するため、規模に見合った駐車場の確保をお願いしたい。
- 他種目が同時開催された際の利用者数に見合った駐車場の確保が必要である。
- 国際大会レベルの大会が開催できる体育館の規模はよいと思うが、それをどのように維持していけるかが大切である。
- 機能が多ければ多いほど需要が増すのでよいと思うが、利用できる日が少なくなるようでは困る。
- コンサートや国際大会での収益も必要だが、人があっての総合体育館なので、子どもたちがこの会場で試合・大会ができて幸せだと思えるような配慮をお願いしたい。

○ また、その他整備に関する意見の主な内容については、以下のとおりである。

- 鴨池地区が望ましいと考える。
- 県庁東側より試験場跡地でよい。お金がかかりすぎ、自家用車での移動を考えると駐車場が確保できる方がよい。
- 鹿児島市内の中心部が交通が便利だと思う。
- 駐車場の確保と交通利便性が高い場所がよい。
- 離島の高校は移動手段がないので、鹿児島市内からなるべく近い場所がありがたい。
- 大きなお金なので、多くの県民に還元できるように熟慮して作ってもらいたい。
- 体育館建設に関しての案が出てから期間が長すぎる。スピーディーに対応してもらいたい。
- 早期建設をお願いしたい。
- 今回のインターハイや国体に間に合わなかったのもう作らなくてもよいのではないかと。既存の施設でも開催でき、今後も多少は我慢しながら運営すればよいのではないかと。

新たな総合体育館の整備に係る調査 結果概要

《屋内スポーツ競技団体》

1 調査目的

施設利用者の視点から幅広く御意見を募り、新たな総合体育館の整備に向けた検討の参考とするため、施設の主な利用者となる屋内スポーツ競技団体の各団体に対する調査を実施した。

2 調査概要

(1) アンケート内容

新たな総合体育館の整備について、総合体育館に望ましい機能や施設の規模等についての御意見をお聞きするもの

(2) 調査時期

令和2年1月

(3) 調査対象

屋内スポーツ競技団体 17団体

3 回答状況

17団体全てから回答

【参考】 鹿児島県屋内スポーツ競技団体 構成団体（17団体）

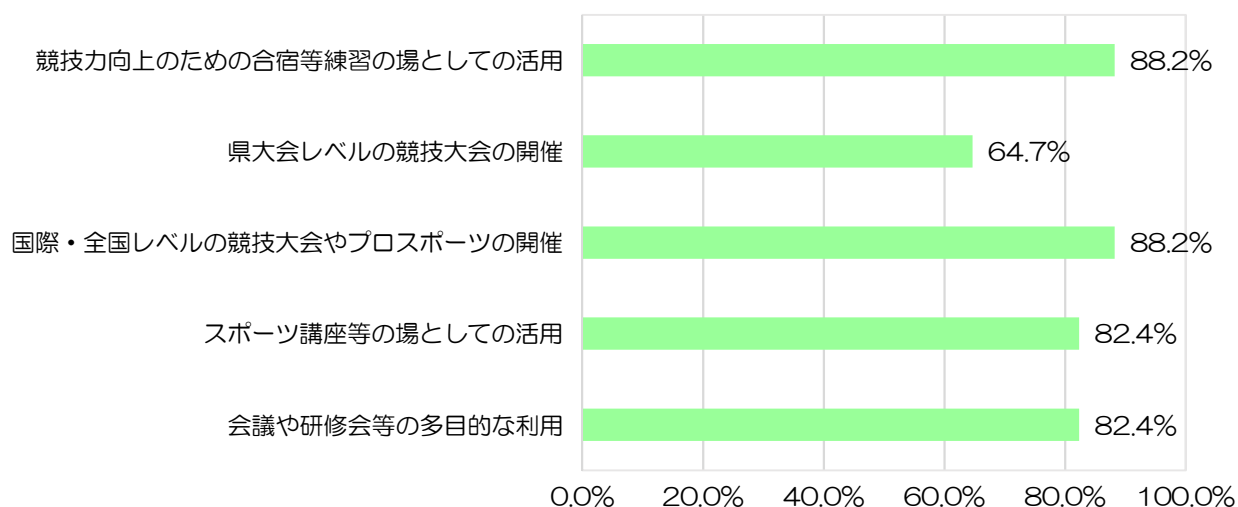
競技団体名	競技団体名
鹿児島県バレーボール協会	全空連鹿児島県空手道連盟
鹿児島県体操協会	(公財)鹿児島県柔道会
(一社)鹿児島県バスケットボール協会	鹿児島県弓道連盟
鹿児島県ハンドボール協会	鹿児島県剣道連盟
鹿児島県卓球連盟	鹿児島県銃剣道連盟
鹿児島県バドミントン協会	鹿児島県なぎなた連盟
鹿児島県ボクシング連盟	鹿児島県フェンシング協会
鹿児島県レスリング協会	鹿児島県障害者スポーツ協会
鹿児島県ウエイトリフティング協会	

4 調査結果概要

新たな総合体育館に望ましい機能・規模等

○ 新たな総合体育館に望ましい機能については、「競技力向上のための合宿等練習の場としての活用」及び「国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの開催」を選択した団体の割合が88.2%と最も高く、「スポーツ講座等の場としての活用」や「会議や研修会等の多目的な利用」についても80%を超えている。

【各項目別の回答割合】



○ 新たな総合体育館に望ましい規模・構成等について、各団体からいただいた意見の主な内容は以下のとおり。

- ・ 国際大会や全国大会が開催できる規模を確保するとともに、それに対応した観客席を備えることが望ましい。
- ・ 昨年12月に「新たな総合体育館の規模、構成等について」として示された規模等の確保をお願いしたい。
- ・ メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道場に加え、多目的スペースや控え室、更衣室、器具庫、トイレ等の諸室も十分に確保してほしい。
- ・ 各競技ごとの大会規定等に応じて、コート面の数やコート周りの広さ、天井の高さ等が確保されるようお願いしたい。
- ・ 様々な競技団体が利用しやすいように、多目的スペースや会議室の確保、備品運搬等の動線などに十分配慮してほしい。
- ・ 障害者などに配慮した施設・設備となることが大事である。
- ・ 大型バスも含めた十分な駐車スペースの確保が必要である。 等

総合体育館の整備に当たり留意すべき点やその他の意見等（自由意見）

○ 新たな総合体育館の整備に当たり留意すべき点や望ましいと考えられる点などに関して、各団体からいただいた意見の主な内容については、以下のとおりである。

- 屋内スポーツの拠点としての機能はもちろんのこと。コンサートやイベント等多目的に利用でき、県内外の選手や観客の方々にとって感動できる施設となることを望む。
- 新たな総合体育館については、競技者の枠を超えて、人々が集うアゴラ（広場）としての機能を備えていることが最重要である。集い集約する場で、発信する機能を持ち、時として災害時の避難所の機能となるような施設を期待する。
- 施設内で複数の大会や催しを行えるような工夫など、誰でも使いやすい、利用しやすい体育館であってほしい。
- 普通車だけでなく大型バスにも対応できるよう、十分な駐車スペースの確保をお願いしたい。

- 現在の体育館は老朽化が進み、大会会場の確保や大会運営にも支障があるため、一刻も早く新たな総合体育館が整備されるよう期待する。
- 県としての考えを早く確立し、早期の整備をお願いしたい。
- 新たな総合体育館の県庁東側の土地への整備についての県民の理解が得られるよう、県として最善の方策をとることを望む。
- 十分な機能を有した施設となるよう、計画の進度にあわせ、随時関係団体等の意見を聞いてほしい。
- しっかりと議論を重ねるなど慎重に進め、立派な体育館を整備してほしい。

- 利用者に不便がないよう。鹿児島中央駅や各港、空港からの交通アクセスの整備・充実についても検討してほしい。
- 各競技団体が利用できるような事務室について検討してほしい。

他自治体における事例調査について

1 概要

新たな総合体育館の候補地検討の参考とするため、本県で検討を進めている体育館と同程度の規模を有する都道府県立体育館を調査。

2 調査方法

一般社団法人アリーナスポーツ協議会が示した「アリーナ標準」において中規模アリーナとされている観客席6千席以上1万2千席未満の都道府県立体育館及びメインアリーナがバスケットコート4面以上の都道府県立体育館を対象に、立地の状況や施設の規模・構成、運営状況等について調査

3 他自治体の状況

(1) 調査対象の都道府県立体育館

ア) 観客席6千席以上1万2千席未満の都道府県立体育館

イ) メインアリーナがバスケットコート4面以上の都道府県立体育館

(調査対象施設)

	施設名称	設置者	メインアリーナ			
			バスケットコート 面数	観客席数		
				固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
1	北海道立総合体育センター (北海きたえーる) <H11. 9>	北海道	4面	4,092	1,872	5,964 (10,000)
2	宮城県総合運動公園総合体育館 (セキスイハイムスーパーアリーナ) <H9. 3>	宮城県	4面	5,011	2,052	7,063
3	あづま総合運動公園総合体育館 <H5. 4>	福島県	3面	2,516	3,484	6,000
4	ALSOKぐんま総合スポーツ センターぐんまアリーナ <H8. 8>	群馬県	4面	3,225	2,208	5,433 (9,000)
5	東京体育館 <S31. 8>	東京都	4面	6,030	-	6,030 (10,000)
6	いしかわ総合スポーツセンター <H20. 3>	石川県	4面	2,867	2,152	5,019 (6,000)
7	静岡県小笠山総合運動公園 静岡アリーナ(エコバアリーナ) <H13. 12>	静岡県	4面	4,862	2,400	7,262 (10,000)
8	愛知県体育館 (ドルフィンズアリーナ) <S39. 9>	愛知県	3面	4,375	3,032	7,407
9	三重県営サンアリーナ <H6. 5>	三重県	4面	4,980	2,180	7,160 (11,000)
10	京都府立体育館 (島津アリーナ京都) <S46. 10>	京都府	3面	5,016	480	5,496 (8,000)
11	大阪府立体育会館 (エディオンアリーナ大阪) <S62. 1>	大阪府	4面	3,131	3,000	6,131
12	和歌山ビックホエール <H9. 5>	和歌山 県	4面	2,980	2,080	5,060 (8,500)
13	岡山県総合グラウンド体育館 (ジップアリーナ岡山) <H17. 4>	岡山県	4面	2,528	2,556	5,084
14	広島県立総合体育館 <H5. 11>	広島県	4面	4,800	2,040	6,840 (10,000)
15	大分県立武道スポーツセンター (昭和電工武道スポーツセンター) <H31. 4>	大分県	4面	2,048	2,016	4,064

(2) 立地の状況

他事例においては、県庁所在都市に立地している事例が多い。

(所在都市の区分)

県庁所在都市	それ以外	計
11	4	15

政令指定都市	中核市	それ以外	計
6	5	4	15

(3) 施設の規模・構成

バスケットコート4面程度の規模、観客席6千席未満の施設が多く、武道館を含まない施設が多い。

駐車場については、施設単体では200台未満が多く、他の施設との併用を行っている場合では千台以上5千台未満が多い。

(施設の規模)

バスケットコート 4面程度	バスケットコート 3面程度	計
12	3	15

観客席 6千席未満	6千席以上 7千席未満	7千席以上	計
7	4	4	15

(武道館の有無)

武道館あり	柔剣道場のみ	なし	計
2	2	11	15

(駐車場の台数)

※施設単体の場合

200台未満	200台以上 500台未満	500台以上	計
5	1	2	8

※他施設（陸上競技場，野球場等）と併用の場合

千台未満	千台以上 5千台未満	5千台以上	計
2	3	2	7

(4) 施設の管理運営

本県と同様，スポーツ利用を優先している自治体が多く，一定程度，都道府県が指定管理料等を負担して維持管理を行っている。

(他自治体における収支)




支出 (管理運営費)	収入		
	利用料金	指定管理料	その他
437,104	266,286	155,490	55,516

※回答のあった9自治体の平均値（施設単体で管理運営を行っている施設のみ）

【次ページ以降の個票について】

- 関係都道府県への調査結果をもとに本県において作成
- 交通アクセス，宿泊・商業施設の状況については，本県においてインターネットにより調査
- 大規模イベントの開催実績，維持管理費は，直近の決算年度（H30）の状況を記載
- 大規模イベントの開催実績については，一定規模以上の集客のあるイベント等を対象として調査を行ったが，それぞれのイベントの定義がないことから，各都道府県から回答のあった数値をそのまま記載（各都道府県の判断）

都道府県立体育館の概要

施設名称	北海道立総合体育センター (北海きたえーる)		設置者	北海道(5,304千人)	
			完成年月	平成11年9月	
所在都市	札幌市 (1,955千人)	※道庁所在都市で政令市 ※北海道最大の都市			
立地環境			 <p>施設外観</p>  <p>メインアリーナ</p>		
立地場所	・札幌市中心部に位置し、豊平公園に隣接				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	3施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	44施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			<p>アクセスマップ</p>  <p>(札幌市中心部(札幌駅)からのアクセス) ○地下鉄東豊線(約7分) 豊平公園駅直結(徒歩:約4分) ○バス(4路線)(約16分) 徒歩(5分) ○車(タクシー)(約10分)</p>		
施設の概要					
施設規模					
構造	地上2階 地下1階	敷地面積 (m ²)	40,000	建築面積 (m ²)	18,919
延床面積 (m ²)	30,000				

建設費・財源					
建設費 (億円)	230	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			不明		
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	588,651	収入	利用料金	指定管理料	その他
			301,837	313,898	61,440
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,886 [84.3m× 49.7m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			4,092	1,872	5,964 (10,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	1,647 [45m×35m] 《2面》	観客席数	—		
武道館					
剣道場 (席数)	2面 (一)	柔道場 (席数)	2面 (一)	弓道場	近:12人立 (一)
柔剣道場一体利用で4面					
駐車場					
180台					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	6	全国大会	49		
コンサート・イベント					
コンサート	13	コンベンション・ 大会等	15		

都道府県立体育館の概要

施設名称	宮城県総合運動公園総合体育館(セキスイハイムスーパーアリーナ)		設置者	宮城県(2,334千人)	
			完成年月	平成9年3月	
所在都市	利府町(36千人)	※仙台市の北東に隣接する仙塩地区に位置			
立地環境			 		
立地場所	・仙台市の北東部に位置する利府町の県民の森に隣接する県総合運動公園内に立地				
宿泊施設の状況(徒歩15分圏内)	0施設				
商業施設の状況(徒歩15分圏内)	2施設(コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス					
<p>(仙台市中心部(仙台駅)からのアクセス)</p> <p>○電車・バス JR仙台駅より東北本線利府駅(約20分) 利府駅よりバス(約10分)</p> <p>○車(タクシー)(約40分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 ※メインアリーナ	敷地面積 (m ²)	904,000 ※公園全体	建築面積 (m ²)	20,023
延床面積 (m ²)	20,023				

建設費・財源					
建設費 (億円)	65.78 (総合体育館新 築工事及び関連 工事費)	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			0	6,578	0
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	963,114	収入	利用料金	指定管理料	その他
			348,515	546,547	74,938
※公園全体					

各施設の内容

メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,740 [82m×50m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			5,011	2,052	7,063
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	843 [36m×24.5m] 《1面》	観客席数	474	/	
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
5,379台 ※公園全体					

大規模イベントの開催状況(回数)

スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	3	/	
コンサート・イベント					
コンサート	24	コンベンション・ 大会等	2	/	

都道府県立体育館の概要

施設名称	あづま総合運動公園総合体育館		設置者	福島県(1,914千人)	
			完成年月	平成5年4月	
所在都市	福島市 (294千人)	※県庁所在都市(中核市) ※県内第3の都市			
立地環境			 <p>施設外観</p>  <p>メインアリーナ</p>		
立地場所	・福島市西部に位置するあづま総合運動公園内に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	〇施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	〇施設				
その他					
交通アクセス	(福島市中心部(福島駅)からのアクセス) ○バス(約30分) ○車(タクシー)(約20分)		公園マップ		
					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上2階 一部3階	敷地面積 (㎡)	20,000	建築面積 (㎡)	12,530
延床面積 (㎡)	18,687				



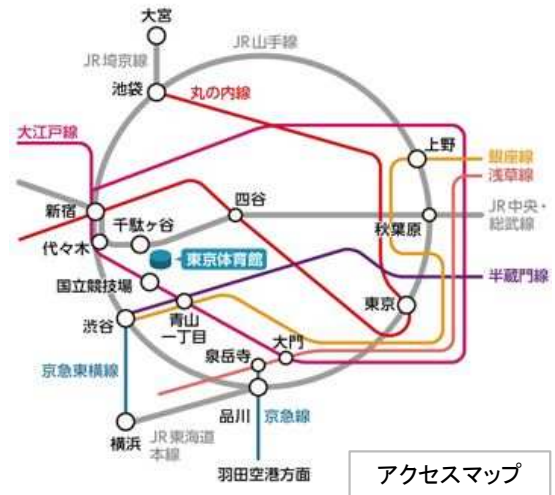
建設費・財源					
建設費 (億円)	不明	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			不明		
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	非公表	収入	利用料金	指定管理料	その他
			非公表		
※公園全体					
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	2,744 [59.4m×46.2m] 《3面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			2,500	3,500	6,000
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	871 [33m×26.4m] 《1面》	観客席数	—		
武道館					
なし					
駐車場					
2,618台 ※公園全体					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	0		
コンサート・イベント					
コンサート	0	コンベンション・大会等	33		

都道府県立体育館の概要

施設名称	ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ		設置者	群馬県(1,973千人)	
			完成年月	平成8年8月	
所在都市	前橋市 (336千人)	※県庁所在都市(中核市) ※県内第2の都市			
立地環境			 <p>施設外観</p>  <p>メインアリーナ</p>		
立地場所	・前橋市北部に位置するぐんま総合スポーツセンター内に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	0施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	3施設				
その他					
交通アクセス			アクセスマップ		
<p>(前橋市中心部(前橋駅)からのアクセス) ○バス(約30分)徒歩(10分) ○車(タクシー)(約25分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上4階 ※メインアリーナ	敷地面積 (m ²)	219,000 ※公園全体	建築面積 (m ²)	35,000 ※公園全体
延床面積 (m ²)	20,556				




建設費・財源					
建設費 (億円)	不明	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	298,147	収入	利用料金	指定管理料	その他
			72,034	226,113	0
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] ≪バスケット面≫	3,664 [78m×40m] ≪4面≫	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			3,225	2,208	5,433 (9,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] ≪バスケット面≫	1,512 [—] ≪2面≫	観客席数	—		
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
1,830台 ※公園全体					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	0		
コンサート・イベント					
コンサート	0	コンベンション・大会等	0		

都道府県立体育館の概要

施設名称	東京体育館		設置者	東京都(13,515千人)	
			完成年月	昭和31年8月(H2年2月改築)	
所在都市	渋谷区 (225千人)	※東京都23区の西南部の中心に位置			
立地環境			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施設外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>メインアリーナ</p> </div> </div>		
立地場所	・都心から近く、国立競技場や神宮球場等に隣接				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	11施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	33施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			 <p>アクセスマップ</p>		
<p>(都心(東京駅)からのアクセス)</p> <p>○地下鉄丸ノ内線四ツ谷駅(約12分)</p> <p>JR総武線(約3分)千駄ヶ谷駅(徒歩:約1分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下2階 ※メインアリーナ	敷地面積 (㎡)	45,800	建築面積 (㎡)	24,100
延床面積 (㎡)	43,971				

建設費・財源					
建設費 (億円)	不明	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			不明		
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	非公表	収入	利用料金	指定管理料	その他
			非公表	非公表	非公表
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,220 [-] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			6,030	-	6,030 (10,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	1,330 [-] 《2面》	観客席数	—		
武道館					
なし ※他に都立施設あり					
駐車場					
66台					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	非公表	全国大会	非公表		
コンサート・イベント					
コンサート	非公表	コンベンション・ 大会等	非公表		

都道府県立体育館の概要

施設名称	いしかわ総合スポーツセンター		設置者	石川県(1,154千人)	
			完成年月	平成20年3月	
所在都市	金沢市 (466千人)	※県庁所在都市(中核市) ※県内第1の都市			
立地環境			<div style="text-align: right;">施設外観</div>  <div style="text-align: center;">メインアリーナ</div> 		
立地場所	・金沢市西部に位置する西部 緑地公園の北側に位置				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	2施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	4施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス	(金沢市中心部(金沢駅)からのアクセス) ○バス(約30分) 徒歩(2分) ○車(タクシー)(約20分)		<div style="text-align: center;">公園全体図</div> 		
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下1階	敷地面積 (㎡)	52,398	建築面積 (㎡)	18,066
延床面積 (㎡)	24,353				

建設費・財源					
建設費 (億円)	125	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源, その他
			0	10,674	1,801
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	266,187	収入	利用料金	指定管理料	その他
			119,982	153,075	15
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] ≪バスケット面≫	3,680 [80m×46m] ≪4面≫	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			2,867	2,152	5,019 (6,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] ≪バスケット面≫	1,702 [46m×37m] ≪2面≫	観客席数	982 固定席: 294 移動席: 688		
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
501台					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	9		
コンサート・イベント					
コンサート	1	コンベンション・大会等	6		

都道府県立体育館の概要

施設名称	静岡県小笠山総合運動公園 静岡アリーナ(エコパアリーナ)		設置者	静岡県(3,700千人)	
			完成年月	平成13年12月	
所在都市	袋井市 (86千人)	※県西部に位置			
立地環境			 <p style="text-align: right;">施設外観</p>  <p style="text-align: center;">メインアリーナ</p>		
立地場所	・袋井市と掛川市にまたがる小笠山の北西麓に位置する小笠山総合運動公園内に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	0施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	2施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			<p style="text-align: center;">アクセスマップ</p> 		
(浜松市中心部(浜松駅)からのアクセス) ○JR在来線愛野駅(約20分) (徒歩:約15分) ○車(タクシー)(約40分)					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上5階 ※メインアリーナ	敷地面積 (m ²)	20,000	建築面積 (m ²)	12,828
延床面積 (m ²)	22,581				

建設費・財源					
建設費 (億円)	101	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			不明		
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	906,195	収入	利用料金	指定管理料	その他
			297,282	614,000	7,245
※公園全体					
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	4,165 [85m×49m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			4,862	2,400	7,262 (10,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	1,470 [42m×35m] 《2面》	観客席数	294		
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
4,361台※公園全体					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	0		
コンサート・イベント					
コンサート	22	コンベンション・ 大会等	3		

都道府県立体育館の概要

施設名称	愛知県体育館 (ドルフィンズアリーナ)		設置者	愛知県(7,483千人)	
			完成年月	昭和39年9月	
所在都市	名古屋市 (2,296千人)	※県庁所在都市(政令指定都市) ※県内第1の都市			
立地環境			 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">施設外観</div>  <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">メインアリーナ</div>		
立地場所	・名古屋城二の丸地内に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	18施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	30施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">アクセスマップ</div> 				
<p>(名古屋市中心部(名古屋駅)からのアクセス)</p> <p>○私鉄(約15分)(徒歩:約5分)</p> <p>○バス(約10分)(徒歩:約10分)</p> <p>○車(タクシー)(約15分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下1階	敷地面積 (m ²)	37,707	建築面積 (m ²)	7,634
延床面積 (m ²)	17,241				

建設費・財源					
建設費 (億円)	12	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	236,943	収入	利用料金	指定管理料	その他
			202,127	73,951	15
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	2,468 [64m×40m] 《3面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			4,375	3,032	7,407
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	704 [32m×22m] 《1面》	観客席数	50		
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
なし					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	20		
コンサート・イベント					
コンサート	5	コンベンション・ 大会等	6		

都道府県立体育館の概要

施設名称	三重県営サンアリーナ		設置者	三重県(1,816千人)	
			完成年月	平成6年5月	
所在都市	伊勢市 (128千人)	※県南東部に位置(第6の都市)			
立地環境			 <p>施設外観</p>  <p>メインアリーナ</p>		
立地場所	・伊勢市東部の朝熊山麓公園に隣接				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	〇施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	〇施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			<p>アクセスマップ</p> 		
<p>(伊勢市中心部(伊勢市駅)からのアクセス)</p> <p>○JR(約8分)二見浦 タクシー(約5分)</p> <p>○私鉄(約3分)五十鈴川駅 バス(約20分)</p> <p>○車(タクシー)(約15分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 ※メインアリーナ	敷地面積 (m ²)	28,645	建築面積 (m ²)	24,312
延床面積 (m ²)	24,312				

建設費・財源					
建設費 (億円)	180	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源, その他
			0	14,020	4,020
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	327,497	収入	利用料金	指定管理料	その他
			111,184	205,978	29,696
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,489 [82.9m×47.9m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			4,980	2,180	7,160 (11,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	1,746 [47.9m×34.1m] 《2面》	観客席数	1,002	/	
武道館					
なし					
駐車場					
600台					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会, 全国大会		不明		/	
コンサート・イベント					
コンサート	6	コンベンション・ 大会等	24	/	

都道府県立体育館の概要

施設名称	京都府立体育館 (島津アリーナ京都)		設置者	京都府(2,610千人)	
			完成年月	昭和46年10月	
所在都市	京都市 (1,475千人)	※府内第1の都市(政令指定都市)			
立地環境			 <p>施設外観など</p>		
立地場所	・京都市北部に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	9施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	25施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			<p>(京都市中心部(京都駅)からのアクセス) ○JR(約8分)円町駅(徒歩:約8分) ○バス(約30分)(徒歩:約3分)</p> 		
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階	敷地面積 (m ²)	12,843	建築面積 (m ²)	8,091
延床面積 (m ²)	14,015				

建設費・財源					
建設費 (億円)	12	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
			不明		
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	85,374	収入	利用料金	指定管理料	その他
			56,537	0	29,697
※府直営のため、人件費の一部を別途支出					
各施設の内容					
メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	2,242 [59m×38m] 《3面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			5,016	480	5,496 (8,000)
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	864 [36m×24m] 《2面》	観客席数	-		
武道館					
※府立施設なし					
駐車場					
80台程度					
大規模イベントの開催状況(回数)					
スポーツイベント					
国際大会	1	全国大会	4		
コンサート・イベント					
コンサート	0	コンベンション・大会等	0		

都道府県立体育館の概要

施設名称	大阪府立体育会館 (エディオンアリーナ大阪)		設置者	大阪府(8,839千人)	
			完成年月	昭和62年1月	
所在都市	大阪市 (2,691千人)	※府内第1の都市(政令指定都市)			
立地環境			施設外観		
立地場所	・大阪市中心部に立地		  <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">メインアリーナ</div>		
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	29施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	43施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			アクセスマップ		
<p>(大阪市中心部(大阪駅)からのアクセス)</p> <p>○地下鉄(約10分)なんば駅(徒歩約:7分)</p> <p>○バス(約25分)(徒歩:約5分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上4階 地下2階	敷地面積 (m ²)	8,357	建築面積 (m ²)	7,171
延床面積 (m ²)	28,318				

建設費・財源						
建設費 (億円)	111	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源	その他
			148	5,385	5,501	90
維持管理費等(千円)						
支出 (維持管理費)	232,724	収入	利用料金	指定管理料	その他	
			370,087	0	10,491	
各施設の内容						
メインアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,010 [70m×43m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)	
			3,131	3,000	6,131	
サブアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	912.6 [33.8m×27m] 《2面》	観客席数	-			
武道館						
剣道場 (席数)	2面 (一)	柔道場 (席数)	2面 (一)	弓道場	※府立施設なし	
駐車場						
35台※地下						
大規模イベントの開催状況(回数)						
スポーツイベント						
国際大会	0	全国大会	20			
コンサート・イベント						
コンサート	2	コンベンション・ 大会等	70			

都道府県立体育館の概要

施設名称	和歌山ビッグホエール		設置者	和歌山県(964千人)	
			完成年月	平成9年5月	
所在都市	和歌山市 (364千人)	※県内第1の都市(中核市)			
立地環境			施設外観		
立地場所	・和歌山市中心部に立地		 		
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	3施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	17施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			メインアリーナ		
(和歌山市中心部(和歌山駅)からのアクセス) ○バス(約5分)(徒歩:約5分) ○車(タクシー)(約5分) ○徒歩約15分			アクセスマップ		
					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下1階	敷地面積 (m ²)	54,090	建築面積 (m ²)	10,949
延床面積 (m ²)	17,234				

建設費・財源						
建設費 (億円)	130	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源	
			不明			
維持管理費等(千円)						
支出 (維持管理費)	201,016	収入	利用料金	指定管理料	その他 補助金	その他
			159,674	85,511	1,138	19,788
※収入・支出は隣接の武道・体育センターと合算						
各施設の内容						
メインアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,280 [80m×44m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)	
			2,980	2,080	5,060 (8,500)	
サブアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	420 [27m×15.6m] 《-》	観客席数	-			
武道館						
剣道場 柔道場 (席数)	なし ※他に県立施設あり			弓道場	※県立施設なし	
駐車場						
543台※隣接施設と併用						
大規模イベントの開催状況(回数)						
スポーツイベント						
国際大会	0	全国大会	0			
コンサート・イベント						
コンサート	3	コンベンション・ 大会等	1			

都道府県立体育館の概要

施設名称	岡山県総合グラウンド体育館 (ジップアリーナ岡山)		設置者	岡山県(1,922千人)	
			完成年月	平成17年4月	
所在都市	岡山市 (719千人)	※県内第1の都市(政令指定都市)			
立地環境			施設外観	 	
立地場所	・岡山市中心部に立地				
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	9施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	37施設 (コンビニ・スーパー)				
その他			メインアリーナ		
交通アクセス			アクセスマップ		
(岡山市中心部(岡山駅)からのアクセス) ○バス(約10分) ○徒歩(約20分)					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上2階	敷地面積 (㎡)	346,000 ※公園全体	建築面積 (㎡)	10,695
延床面積 (㎡)	13,954				

建設費・財源					
建設費 (億円)	35	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源
維持管理費等(千円)					
支出 (維持管理費)	498,404	収入	利用料金	指定管理料	その他
			218,460	269,000	59,347
※公園全体					

各施設の内容

メインアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,680 [80m×46m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)
			2,528	2,556	5,084
サブアリーナ					
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	737 [-] 《1面》	観客席数	-		
武道館					
なし ※他に県立施設あり					
駐車場					
495台※公園全体					

大規模イベントの開催状況(回数)



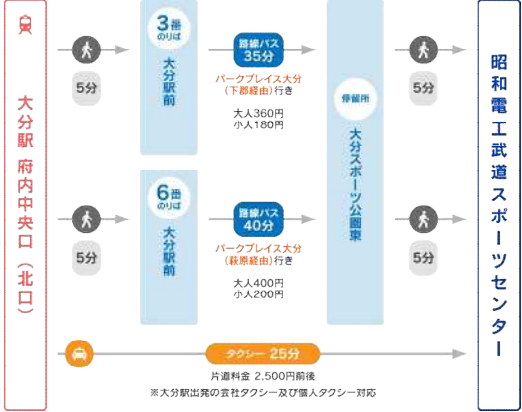
スポーツイベント					
国際大会	0	全国大会	13		
コンサート・イベント					
コンサート	0	コンベンション・大会等	124		

都道府県立体育館の概要

施設名称	広島県立総合体育館		設置者	広島県(2,844千人)	
			完成年月	平成5年11月	
所在都市	広島市 (1,194千人)	※県内第1の都市(政令指定都市)			
立地環境			施設外観		
立地場所	・広島市中心部に立地		  <div style="text-align: right;">メインアリーナ</div>		
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	30施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	36施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			アクセスマップ		
<p>(広島市中心部(広島駅)からのアクセス)</p> <p>○路面電車(約13分)(徒歩約:8分)</p> <p>○バス(約8分)(徒歩:約7分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下2階	敷地面積 (m ²)	30,865	建築面積 (m ²)	10,300
延床面積 (m ²)	50,350				

建設費・財源						
建設費 (億円)	356	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源	その他
			0	23,099	289	12,133
維持管理費等(千円)						
支出 (維持管理費)	747,419	収入	利用料金	指定管理料	その他	
			445,027	171,162	90,702	
各施設の内容						
メインアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	3,500 [80m×48m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)	
			4,800	2,040	6,840 (10,000)	
サブアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	1,700 [49m×35m] 《2面》	観客席数	500			
武道館						
剣道場 (席数)	4面 (300)	柔道場 (席数)	4面 (300)	弓道場	近:12人立 (150)	
※柔剣道場一体利用で8面						
駐車場						
200台※地下						
大規模イベントの開催状況(回数)						
スポーツイベント						
国際大会	1	全国大会	4			
コンサート・イベント						
コンサート	14	コンベンション・ 大会等	24			

都道府県立体育館の概要

施設名称	大分県立武道スポーツセンター (昭和電工武道スポーツセンター)		設置者	大分県(1,166千人)	
			完成年月	平成31年4月	
所在都市	大分市 (478千人)	※県内第1の都市(中核市)			
立地環境			施設外観		
立地場所	・大分市南東部の大分スポーツ公園内に立地		 		
宿泊施設の状況 (徒歩15分圏内)	1施設				
商業施設の状況 (徒歩15分圏内)	5施設 (コンビニ・スーパー)				
その他					
交通アクセス			アクセスマップ		
<p>(大分市中心部(大分駅)からのアクセス)</p> <p>○バス(約35分)(徒歩:約5分)</p> <p>○車(タクシー)(約25分)</p>					
施設の概要					
施設規模					
構造	地上3階 地下1階	敷地面積 (m ²)	2,530,000 ※公園全体	建築面積 (m ²)	14,552
延床面積 (m ²)	16,126				

建設費・財源						
建設費 (億円)	80	財源 (百万円)	国庫	地方債	一般財源	その他
			1,899	1,454	41	4,606
維持管理費等(千円)						
支出 (維持管理費)	※H31.4供用開始のため、実績なし	収入	利用料金	指定管理料	その他	
			※H31.4供用開始のため、実績なし			
各施設の内容						
メインアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	約3,810 [81m×40m] 《4面》	観客席数	固定席	移(可)動席	合計 (最大収容人数)	
			2,048	2,016	4,064	
サブアリーナ						
面積(m ²) [長辺×短辺] 《バスケット面》	なし	観客席数	なし			
武道館						
剣道場 柔道場 (席数)	18面 (400人程度) 柔剣道場一体利用。3面に分割可能。			弓道場	なし ※他に県立施設あり	
駐車場						
5,055台※公園全体						
大規模イベントの開催状況(回数)						
スポーツイベント						
国際大会	-	全国大会	-	※H31.4供用開始のため、実績なし		
コンサート・イベント						
コンサート	-	コンベンション・大会等	-	※H31.4供用開始のため、実績なし		